



NUAGE

NUAGE Workgroup Manager

オペレーションマニュアル

目次

お知らせ	3
NUAGE Workgroup Managerとは.....	3
起動と終了のしかた.....	3
起動	3
終了	3
使いかた	4
Workgroupに機器やDAWソフトウェアを登録する	4
機器やDAWソフトウェアを特定する.....	4
機器やDAWソフトウェアの設定を変更する	5
複数のDAWソフトウェアを切り替えて使用する(画面も同時に切り替え)	5
画面の説明.....	7
Main画面.....	7
Property画面	8
Setup画面	9
About画面.....	9
困ったときは	10
メッセージ一覧	11
NUAGE V2.0で追加された機能.....	12
NUAGE V1.6で追加された機能.....	14

お知らせ

- ・ このソフトウェアおよびPDF形式の取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このソフトウェアおよびPDF形式の取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびPDF形式の取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このPDF形式の取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、最終仕様と異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、下記URLをご参照ください。
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ その他記載の社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

ヤマハプロオーディオホームページ

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

NUAGE Workgroup Managerとは

Nuageのシステムにおいて、機器やDAWソフトウェアをグループとして管理するためのソフトウェアです。このグループのことをWorkgroupと呼びます。Nuage Fader、Nuage Master、NuendoなどをNUAGE Workgroup ManagerでWorkgroupに登録することで、Nuage FaderやNuage MasterからNuendoをコントロールできるようになります。

起動と終了のしかた

起動

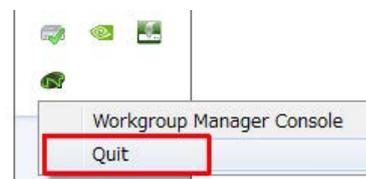
コンピューターを起動すると、NUAGE Workgroup Managerは自動的に起動します。

終了したあとに起動するには、Windowsの場合はスタートメニューやスタート画面から、Macの場合はアプリケーションから起動します。

終了

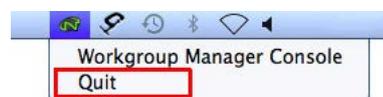
Windows

タスクトレイにあるアイコンを右クリックし、「Quit」を選択します。



Mac

メニューバーにあるアイコンをクリックし、「Quit」を選択します。



使いかた

Workgroupに機器やDAWソフトウェアを登録する

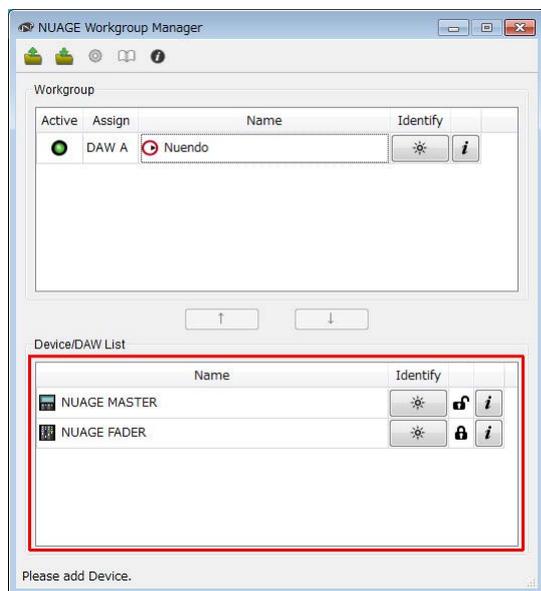
NUAGE Workgroup Managerの画面を開くと表示されるMain画面(7ページ)で、Workgroupに機器やDAWソフトウェアを登録します。手順は次のとおりです。

1. 機器や、DAWソフトウェアがインストールされているコンピューターを、イーサネットケーブルでつなぎます。
2. 機器の電源を入れ、DAWソフトウェアを起動します。

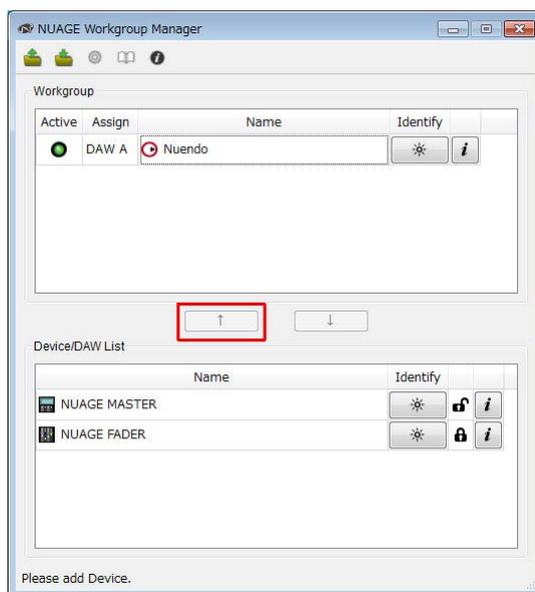
NOTE

はじめて機器の電源を入れたりDAWソフトウェアを起動したときは、機器やDAWソフトウェアをWorkgroupに登録するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[OK]をクリックすると登録できます。このメッセージが表示されない場合は、手順3以降の操作をして、手動で登録してください。

3. タスクトレイ(Windows)またはメニューバー (Mac)にあるNUAGE Workgroup Managerのアイコンをダブルクリックして、NUAGE Workgroup Managerの画面を開きます。
4. 画面下部の「Device/DAW List」エリアに表示されている機器やDAWソフトウェアを選択します。

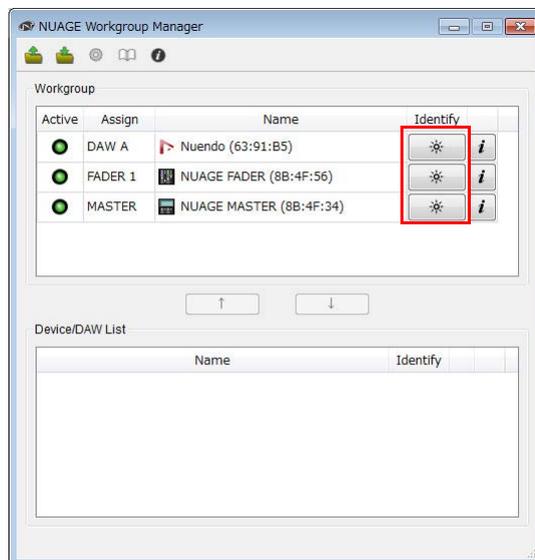


5. 「↑」をクリックして、使用する機器やDAWソフトウェアを、画面上部の「Workgroup」エリアに登録します。



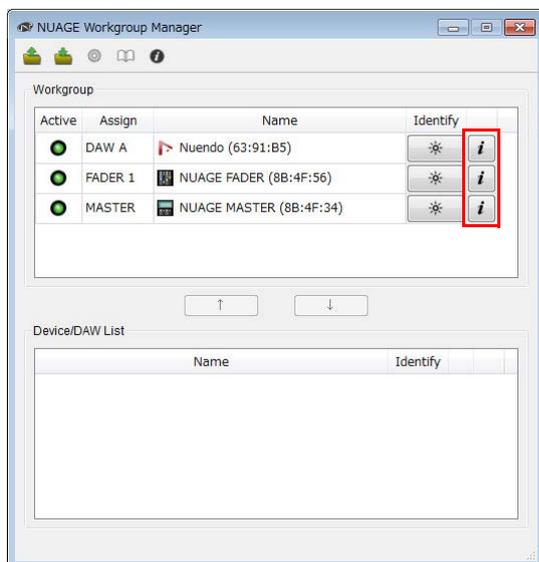
機器やDAWソフトウェアを特定する

NUAGE Workgroup Managerに表示されている機器やDAWソフトウェアを特定するためには、Main画面の「Identify」(8ページ)を使用します。「Identify」をクリックすると、該当機器のランプやDAWソフトウェアが反応します。ランプは数秒間、点滅してから、自動で止まります。



機器やDAWソフトウェアの設定を変更する

NUAGE Workgroup Managerに表示されている機器やDAWソフトウェアの設定を変更するには、Main画面の「Property」を使用します。「Property」をクリックすると、該当の機器やDAWソフトウェアの設定画面が開きます。ここで開く画面は、機器やDAWソフトウェアによって異なります。

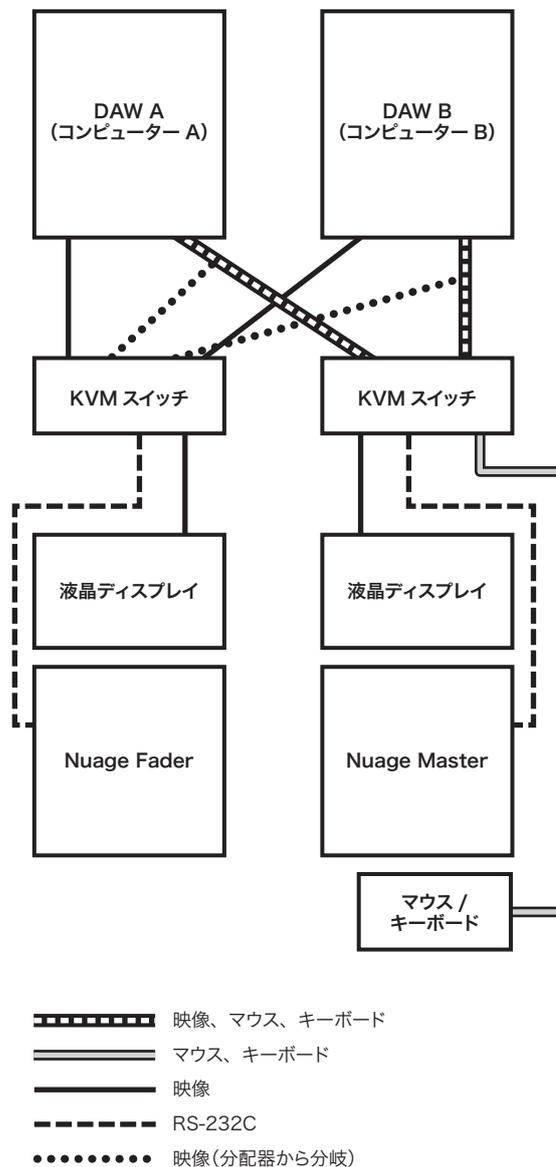


複数のDAWソフトウェアを切り替えて使用する(画面も同時に切り替え)

Nuage FaderやNuage MasterにあるDAW SELECTセクションのボタンで、DAWソフトウェアを切り替えて使用することができます。また、KVMスイッチを使用することで、液晶ディスプレイに表示される画面も同時に切り替えることができます。ここでは例として、Nuage FaderとNuage Masterを1台ずつ使用し、2つのDAWソフトウェアを切り替えて使用するための接続方法や設定方法を紹介します。

接続方法

次の図のように接続します。

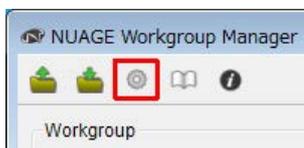


NOTE

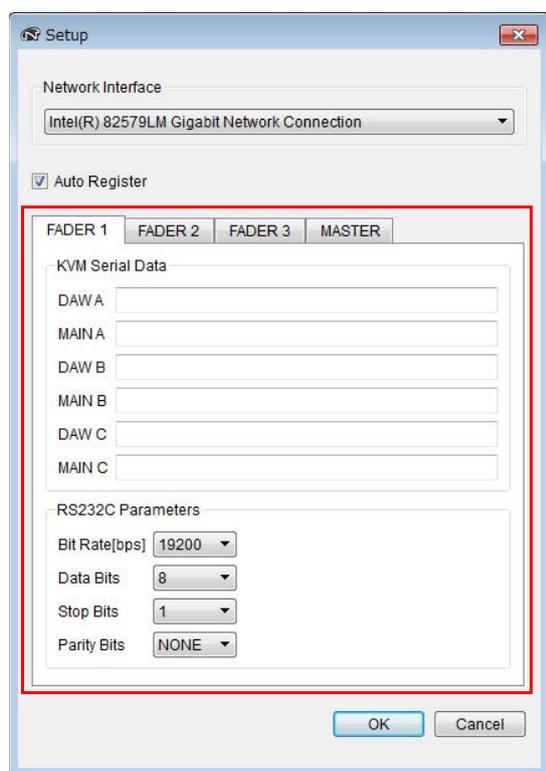
- ・上の図は、イーサネットケーブルの接続を省略しています。
- ・点線の「映像(分配器から分岐)」を接続するには別途、映像の分配器が必要です。
- ・点線の「映像(分配器から分岐)」は、Nuage Fader側の液晶ディスプレイにメイン画面(Nuendoの場合はプロジェクトウィンドウ)を表示するための接続です。Nuage Fader側にメイン画面を表示するには、Nuage FaderのDAW SELECTセクションにある[MAIN DISP]を使用します。

設定方法

1. NUAGE Workgroup Managerの画面を開きます。
2. 2つのDAWソフトウェア、Nuage Fader、Nuage Masterを、1つのWorkgroupに登録します。
3. 「Setup」をクリックして「Setup画面」(9ページ)を開きます。



4. DAW SELECTセクションのボタンを押したときにNuage FaderやNuage MasterのRS-232Cポートから送信されるデータや送信仕様を設定します。



たとえば、「DAW A」の欄には、[DAW A]を押したときにKVMスイッチの信号をDAW Aに切り替えるためのメッセージをASCII文字で設定します。このメッセージやRS232C Parametersに設定する値は、KVMスイッチの取扱説明書をご参照ください。

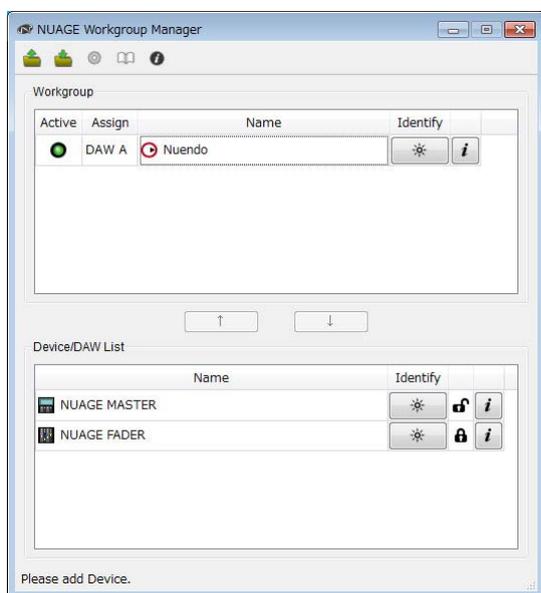
画面の説明

NUAGE Workgroup Managerには、次の画面があります。

- ・ Main画面(7ページ)
- ・ Property画面(8ページ)
- ・ Setup画面(9ページ)
- ・ About画面(9ページ)

Main画面は、NUAGE Workgroup Managerの画面を開くと表示されます。Property画面は、Main画面にある「Property」(8ページ)をクリックすると開きます。Setup画面は、Main画面にある「Setup」(7ページ)をクリックすると開きます。About画面は、Main画面にある「About」(7ページ)をクリックすると開きます。

Main画面



概要

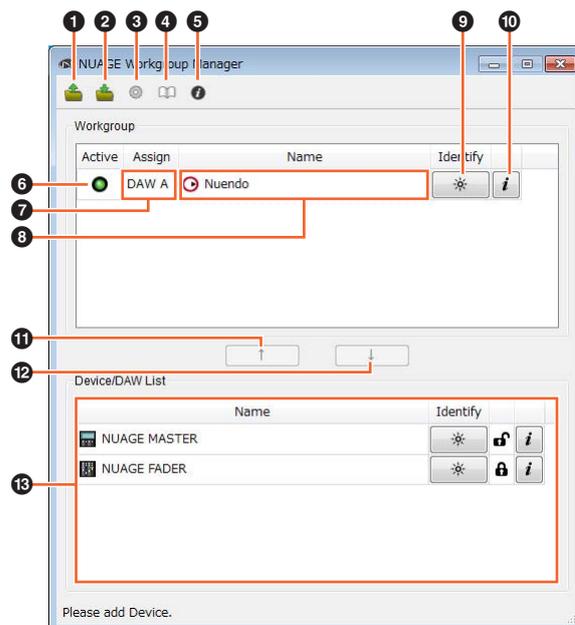
Workgroupを管理する画面です。

画面上部のWorkgroupエリアには、Workgroupに登録した機器やDAWソフトウェアが表示されます。画面下部のDevice/DAW Listエリアには、現在ネットワーク上にある、Workgroupに登録されていない、もしくは他のWorkgroupに登録されている機器やDAWソフトウェアが表示されます。画面中央の矢印ボタンを使用してWorkgroupに登録したり、Workgroupから解除したりします。

1つのWorkgroupには、次のものを登録できます。

- ・ DAWソフトウェアを3つまで(そのうち、Pro Tools (Macのみ)は1つまで)
- ・ Nuage Faderを3台まで
- ・ Nuage Masterを1台まで
- ・ Nuage I/Oを8台まで

各部の名称と機能



① Open

Workgroupの構成を保存したファイルを読み込みます。

② Save

Workgroupの構成を保存します。

③ Setup

「Setup画面」(9ページ)を開きます。

④ Manual

NUAGE Workgroup Managerの取扱説明書(本書)を開きます。

⑤ About

「About画面」(9ページ)を開きます。

⑥ Active

機器やDAWソフトウェアの通信状態が表示されます。通信が確立されている場合は点灯し、確立されていない場合は消灯します。

⑦ Assign

Workgroupでの割り当てが表示されます。

Assign名	割り当てできるもの
DAW A~C	DAWソフトウェア
Fader 1~3	Nuage Fader
Master	Nuage Master
IO 1~8	Nuage I/O

8 Name

機器やDAWソフトウェアの名称が表示されます。名称を変更するには、「Property」をクリックします。ただし、Device/DAW Listエリアにある機器やDAWソフトウェアの名称は変更できません。

Workgroupエリアにある機器やDAWソフトウェアを選択してからNameをクリックすると、「Assign」に対する機器やDAWソフトウェアの割り当てを変更できます。

9 Identify

該当の機器やDAWソフトウェアを特定します。「Identify」をクリックすると、該当機器のランプやDAWソフトウェアが反応します。ランプは数秒間、点滅してから、自動で止まります。ただし、Workgroupエリアで「Active」が消灯しているものおよびPro Toolsはクリックできません。

10 Property

「Property画面」(8ページ)を開きます。

11 ↑

Device/DAW Listエリアで選択している機器やDAWソフトウェアをWorkgroupに登録します。登録された機器やDAWソフトウェアは、Workgroupエリアに移動します。

12 ↓

Workgroupエリアで選択している機器やDAWソフトウェアをWorkgroupから解除します。

13 管理外Workgroup Member

Workgroupに登録されていない機器やDAWソフトウェアが表示されます。コンピューターに複数のネットワークアダプターがある場合、Setup画面の「Network Interface」(9ページ)で選択していないネットワークアダプターのネットワーク上にある機器やDAWソフトウェアは、グレーの文字で表示されます。

表示されている機器やDAWソフトウェアが、他のWorkgroupに登録されているかいないかでアイコンが変わります。

他のWorkgroupに登録されているとき: 

他のWorkgroupに登録されていないとき: 

Property画面



概要

選択した機器やDAWソフトウェアの情報が表示される画面です。Property画面は、Main画面の「Property」(8ページ)をクリックすると開きます。

各部の名称と機能



1 Name

機器やDAWソフトウェアの名称が表示されます。Workgroupエリアにある機器やDAWソフトウェアの「Property」を押したときだけ、名称が変更できます。

2 Version

バージョンが表示されます。x.x.xはバージョンを示します。機器の場合は機器のファームウェアのバージョン、Nuendoの場合はNUAGE Extensionのバージョン、Pro Toolsの場合はNUAGE PT Bridgeのバージョンが表示されます。

3 Update

機器のファームウェアをアップデートします。アップデート手順については、ファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

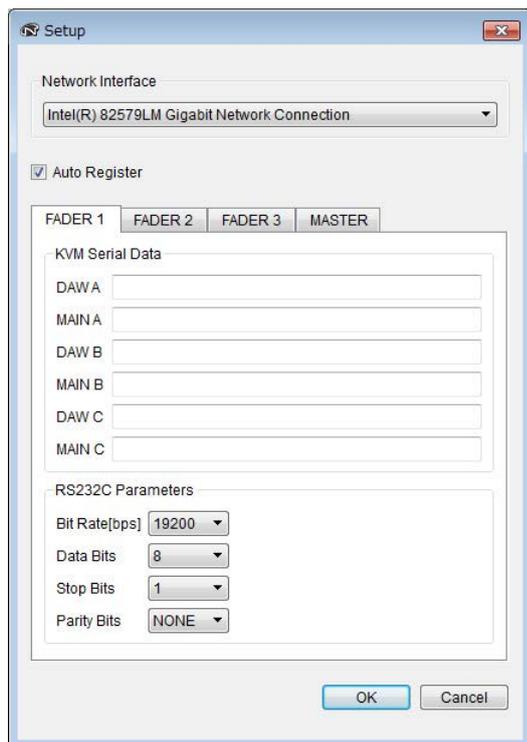
4 MAC Address

MAC Addressが表示されます。

5 Status

機器に何らかの問題が生じたときに、エラーメッセージなどが表示されます。

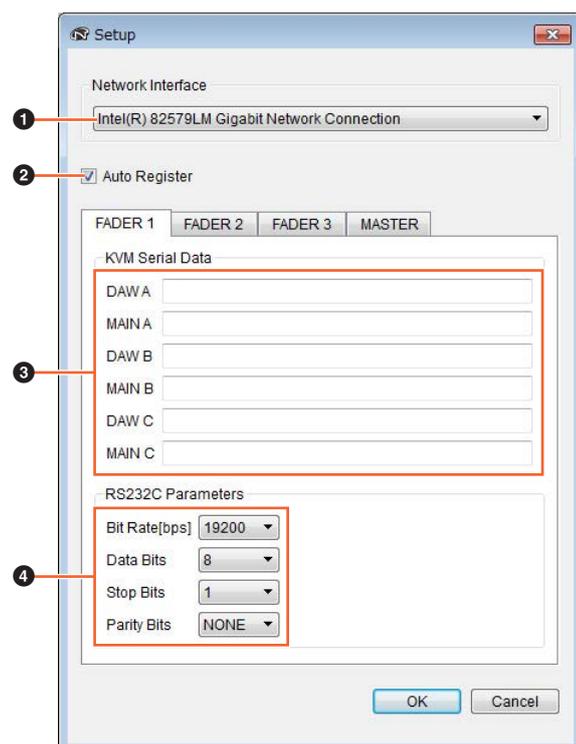
Setup画面



概要

通信設定を設定する画面です。タブをクリックして機器を切り替えます。タブの名称は、Main画面の「Assign」(7ページ)に表示されるAssign名です。このSetup画面は、Main画面の「Setup」(7ページ)をクリックすると開きます。

各部の名称と機能



① Network Interface

NUAGE Workgroup Managerが使用する、コンピューターのネットワークアダプターを選択します。

② Auto Register

自動登録の機能をオン(チェックマークあり)/オフ(チェックマークなし)します。オンにすると、Workgroupに未登録の機器やDAWソフトウェアがネットワーク上に見つかったときに、Workgroupに登録するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

③ KVM Serial Data

KVMスイッチを切り替えるためにKVMスイッチに送信するデータをASCII文字で設定します。KVMスイッチに送信するデータの詳細は、KVMスイッチの取扱説明書をご参照ください。なお、制御文字は次のように入力します。

制御文字	入力文字
LF	\n
CR	\r
\	\\

④ RS232C Parameters

Nuage FaderやNuage Masterのリアパネルにある[RS-232C]から出力するデータのパラメーターを設定します。

項目	設定値
Bit Rate [bps]	4800、9600、19200、38400、57600、115200
Data Bits	7、8
Stop Bits	1、2
Parity Bits	NONE、EVEN、ODD

About画面



概要

NUAGE Workgroup Managerのバージョン情報などが表示される画面です。このAbout画面は、Main画面の「About」(7ページ)をクリックすると開きます。

困ったときは

機器やDAWソフトウェアがDevice/DAW Listエリアに表示されない

- ・ 機器の電源は入っていますか？
- ・ DAWソフトウェアは起動していますか？
- ・ 機器の電源を入れなおしてみてください。
- ・ ファイヤウォールの設定は適切ですか？
- ・ コンピューターに複数のイーサネット端子がある場合、Setup画面の「Network Interface」(9ページ)で正しいポートを選択していますか？
- ・ 無線LANのアダプターが動作している場合、動作を停止してみてください。

Pro ToolsがDevice/DAW Listエリアに表示されない

- ・ NUAGE PT Bridgeをインストールし、Pro Toolsの設定をしましたか？
詳細は、下記のウェブサイトにあるNuage FaderやNuage Masterの取扱説明書をご参照ください。
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

メッセージ一覧

メッセージ	概要
Add to Workgroup	機器やDAWソフトウェアをWorkgroupに登録します。
Remove from Workgroup	機器やDAWソフトウェアをWorkgroupから削除します。
Please add DAW.	DAWソフトウェアをWorkgroupに登録してください。
Please add Device.	機器をWorkgroupに登録してください。
Please add Device and DAW.	機器やDAWソフトウェアをWorkgroupに登録してください。
Please add DAW A.	DAWソフトウェアをDAW Aに登録してください。
Invalid file.	ファイルを開けませんでした。
Members already online. Continue?	オンラインの機器やDAWソフトウェアがあります。続けますか？
XXX already exists. Overwrite? (XXX is a file name.)	ファイルがすでに存在します。上書きしますか？
Failed to write file.	ファイルを保存できませんでした。
Cooling fan is not working.	冷却ファンが停止しています。
The following unregistered members were found. Register? Show this message when unregistered members found.	以下の、Workgroupに未登録の機器やDAWソフトウェアが見つかりました。登録しますか？ 未登録の機器やDAWソフトウェアが見つかったときに、このメッセージを表示します。
Other workgroup members are included. can restore: can not restore: Are you sure?	他のWorkgroupに登録されている機器やDAWソフトウェアがあります。 以下は登録できます。 以下は登録できません。 よろしいですか？
Too many members	最大登録数を超えているので、これ以上登録できません。
Change network interface?	ネットワークインターフェースを変更しますか？
Cannot register	登録できません。
Managed by other workgroup. Manage in this workgroup?	他のWorkgroupに登録されています。 登録しますか？
Remove from Workgroup?	Workgroupから削除しますか？
Cannot assign as DAW A.	DAW Aには割り当てることができません。
Overwrite?	上書きしますか？

NUAGE V2.0で追加された機能

MMP1のリモートコントロールに対応 (Nuage Fader、Nuage Master、NUAGE Workgroup Manager)

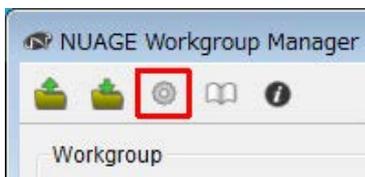
MMP1の機能の一部をリモートコントロールできるようになりました。

設定(事前準備)

NUAGE Workgroup Managerでコントロール元のNuage FaderやNuage Masterとコントロール先のMMP1を設定します。

1. NUAGE Workgroup Managerを開きます。

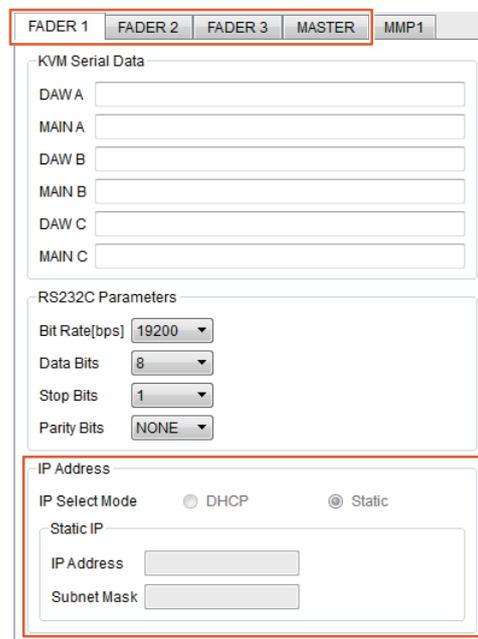
2. 「Setup」をクリックします。



3. IPアドレスを設定します。

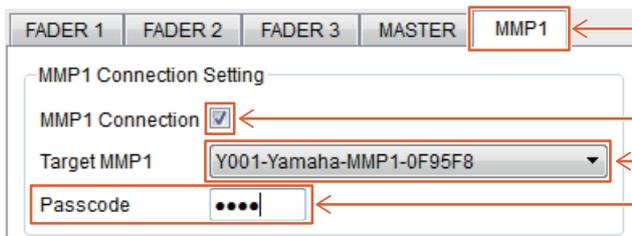
MMP1をNuage FaderやNuage Masterからコントロールするには、Nuage FaderやNuage MasterのIPアドレスをMMP1と同じサブネット内に設定する必要があります。MMP1のIPアドレスの設定については、MMP1セットアップガイドおよびMMP1オペレーションマニュアルをご参照ください。

コントロール元になるNuage FaderまたはNuage Masterのタブをクリックし、IPを設定します。



IPアドレスの設定内容は、MMP1のIPアドレス設定によって異なります。

4. コントロールするMMP1を選択します。



① 「MMP1」タブを選択し、

② チェックを入れ、

③ コントロールするMMP1を選択します。

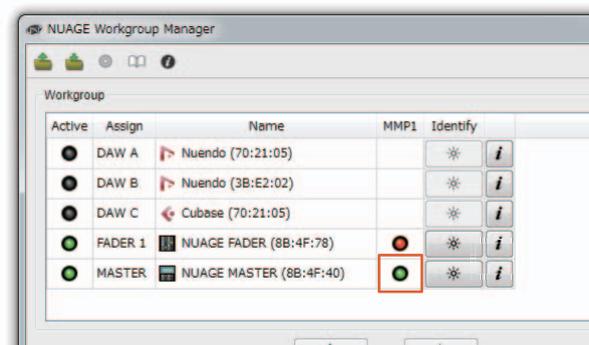
④ MMP1にPasscodeが設定されている場合には、そのPasscodeを入力します。

NOTE

②のチェックを外すと、MMP1のリモートコントロール用に使用されるNuage Fader、Nuage Masterの各キーは従来の動作に戻ります。

5. MMP1との接続を確認します。

MMP1と正しく接続されると、MMP1インジケーターが緑色に点灯します。



MMP1と正しく接続できず、MMP1インジケーターが赤く点灯する場合は、

- IPアドレスの設定が間違っている。
- Passcodeが間違っている。

といった原因が考えられます。IPアドレスの設定やPasscodeをご確認ください。

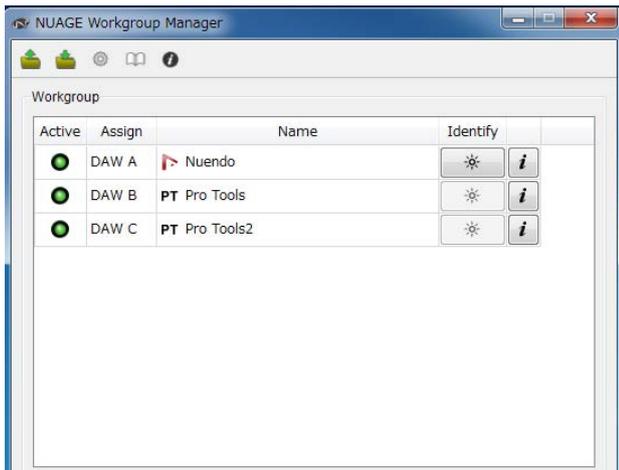
NUAGE V1.6で追加された機能

複数のAvid Pro Tools切り替えに対応 (NUAGE Workgroup Manager)

Workgroupに1つしか登録できなかったAvid Pro Toolsを2つまで登録できるようになりました。

NOTE

Avid Pro Toolsの設定は、Nuage MasterまたはNuage Faderのオペレーションマニュアルをご参照ください。



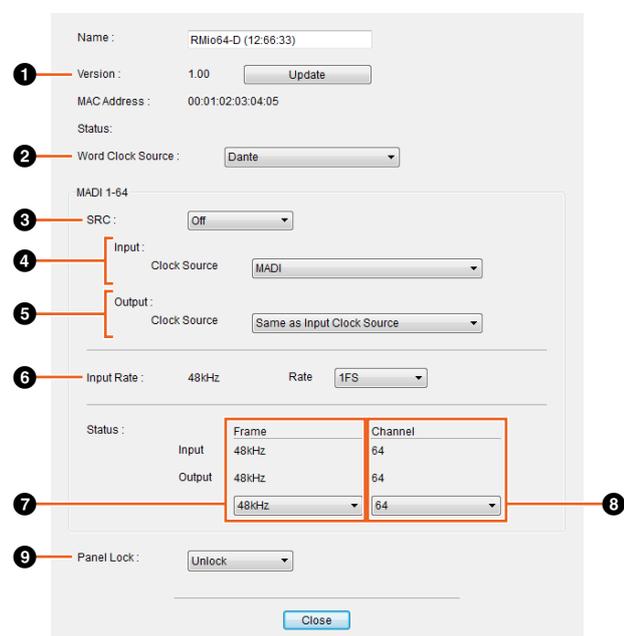
RMio64-Dのリモートコントロールに対応 (NUAGE Workgroup Manager)

Dante/MADI変換オーディオインターフェース RMio64-DをNUAGE Workgroup Managerからリモートコントロールできるようになりました。

NOTE

- リモートコントロールするには、対象のRMio64-DがNUAGE Workgroup内でActiveになっている必要があります。
- 各パラメーターを変更した時点でRMio64-D本体に反映されます。
- Workgroupには、Nuage I/OとRMio64-Dを合わせて8台まで登録できます。

RMio64-D — Property画面



コントロールできるパラメーターは次のとおりです。

1 Version

RMio64-D本体のファームウェアバージョンが表示されます。「Update」をクリックすると、本体のファームウェアをアップデートできます。

2 Word Clock Source

RMio64-D本体のワードクロックソースをDante/WCLK IN/MADIから選択します。

3 SRC

MADIのSRC (Sampling Rate Converter)のOff/Onを切り替えます。

4 Input Clock Source

SRC入力のワードクロックソースをMADI/WCLK IN for SRCから選択します。

5 Output Clock Source

SRCがオンのときのMADIの出力信号のワードクロックソースを選択します。

Same as Input Clock Source	MADIの出力信号は、MADIの入力信号に同期します。
----------------------------	-----------------------------

Same as Word Clock Source	MADIの出力信号は、RMio64-D本体の動作クロックに同期します。
---------------------------	-------------------------------------

6 Input Rate

MADIの入力周波数に合わせて1Fs (1倍)/2Fs (2倍)/4Fs (4倍)を選択します。たとえばMADIの入力信号が192 kHz (48 kHzの4倍)のときは「4Fs」を選択します。

7 MADI Output Frame

MADIの出力信号のフレーム周波数を選択します。選択した値と実際に動作している周波数は異なる場合があります。たとえば、設定が「96kHz」の場合で、実際に動作している周波数が「48kHz」のときは「96kHz >> 48kHz」と表示されます。

Same as Input	MADIの入力信号と同じフレーム周波数で出力します。
---------------	----------------------------

48kHz	44.1 kHzまたは48 kHzで出力します。
-------	--------------------------

96kHz	88.2 kHzまたは96 kHzで出力します。
-------	--------------------------

8 MADI Output Channel

MADIの出力信号のチャンネル数を選択します。選択した値と実際に動作しているチャンネル数は異なる場合があります。たとえば、設定が「64」の場合で、実際に使用できるチャンネル数が「56」のときは「64 >> 56」と表示されます。

Same as Input	MADIの入力信号と同じチャンネル数で出力します。
---------------	---------------------------

64	64チャンネルで出力します。
----	----------------

56	56チャンネルで出力します。
----	----------------

9 Panel Lock

RMio64-D本体のパネル操作のUnlock/Lockを切り替えます。

SRCオン時のMADIの出力信号

Input Clock Source	Output Clock Source	MADIの出力信号
MADI	Same as Input Clock Source	MADIの入力信号に同期
MADI	Same as Word Clock Source	RMio64-D本体の動作クロックに同期
WCLK IN for SRC	Same as Input Clock Source	WCLK IN for SRCから入力されるワードクロックに同期
WCLK IN for SRC	Same as Word Clock Source	RMio64-D本体の動作クロックに同期

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamaha.com/proaudio/>
ヤマハダウンロード
<http://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2013 Yamaha Corporation

2017年11月改訂 MW-C0